

2025（令和7）年度神奈川県立保健福祉大学大学院
保健福祉学研究科保健福祉学専攻博士前期課程 入学試験

筆記試験
問題用紙

- ① 指示があるまでは中を見てはいけません。
- ② 解答はすべて解答用紙に記入してください。
- ③ 解答用紙すべてに、志望領域、受験番号、氏名を必ず記入してください。
- ④ 解答は問題番号ごとに別々の解答用紙に記入してください。
- ⑤ 解答する問題番号（例：作—1—(1)）を必ず記入してください。

【リハビリテーション領域（作業療法学）】

【リハビリテーション領域（作業療法学）】

一般選抜の受験者は、問題（作－1）から2問を選び解答するとともに、問題（作－2）に解答しなさい。

社会人特別選抜の受験者は、問題（作－1）から3問を選び、解答しなさい。

問題（作－1）

- (1) 理学療法士・作業療法士の需給推計（案）（2019年度）では、理学療法士・作業療法士の供給数は、需要数を上回っており、2040年ごろには供給数が需要数の約1.5倍になると予測されている。このような現状と将来の人口減少、高齢化の進行や地域差などを踏まえて、今後の作業療法士の養成について、需要と供給のバランスを保つための具体的な対策案を述べなさい。

- (2) 認知症リハビリテーションにおける臨床問題を1つ取り上げ、それを解決するためにどのような研究を実施すれば良いか、あなたの考えを述べなさい。

- (3) あなたは、普段の臨床活動において、診療ガイドライン（「脳卒中ガイドライン」など）をどのように活用しているか、「根拠に基づいた医療（EBM: Evidence-based Medicine）」の観点から実際の臨床経験に基づいて具体的に説明しなさい。

- (4) 対象者と医療者が協働して意思決定するプロセスを共同意思決定（SDM: Shared Decision Making）と言う。対象者との目標設定におけるSDMの実践に関して、①臨床的状況（Clinical state and circumstances）、②科学的根拠（Research evidence）、③対象者の希望や好み（Patients' preferences and actions）の3つの視点から、望ましい支援について、あなたの経験を踏まえて述べなさい。

- (5) 脳血管障害に対する作業療法は、高齢化やメタボリックシンドロームなどの影響でニーズは拡大してきている。回復期での事例を提示し、適切な目的と具体的な作業療法に関して述べなさい。

- (6) 作業療法の実践モデルである人間作業モデルについて、環境をどのように捉えているか述べなさい。次に、環境の評価法を1つあげ、説明しなさい。
- (7) 精神障害者のADLやIADLに対する作業療法評価や作業療法介入の視点に関して、具体例を示しながらあなたの考えを述べなさい。

問題（作-2）

以下の英文は、高齢者介護施設入居者を対象とした Randomized Controlled Trial (RCT) の研究論文の Abstract である。この英文を日本語に訳しなさい。

（著作権の関係で、問題文の掲載を省略）

出典 : Cordes T, Bischoff LL, Schoene D, et al. (2019). A multicomponent exercise intervention to improve physical functioning, cognition and psychosocial well-being in elderly nursing home residents: a study protocol of a randomized controlled trial in the PROCARE (prevention and occupational health in long-term care) project. BMC Geriatr. 2019 Dec 23;19(1):369. より一部抜粋